

関係各位

京都府病虫害防除所長
(公 印 省 略)

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので、送付します。

◇
発生予察特殊報第 2 号

病 害 虫 名 ヒメジュウジナガカメムシ *Tropidothorax sinensis* (Reuter)
作 物 名 ナス
発 生 地 域 山城地域の一部

1 発生確認の経過

平成 28 年 8 月下旬に京都市内の露地栽培ナスの生長点にカメムシ類の幼虫が発生し、茎を吸汁しているとの連絡があった。採集した幼虫を実験室へ持ち帰り、自然日長条件下においてナスの葉などを与えて飼育した結果、ヒメジュウジナガカメムシ *Tropidothorax sinensis* (Reuter) (写真 1) であることを確認した。本種のナスでの発生は国内で初めてである。

2 被害の特徴

成虫及び幼虫が葉や茎を吸汁加害する。生長点付近を集団加害されると萎れる (写真 2)。

3 生態

成虫の体長は 8 ~ 9 mm。体は光沢のない橙赤色で前胸部と腹部に黒色の斑紋がある。草むらで生活し、ガガイモによく集まる。他の農作物ではカキ果実に発生することがある。なお、発生ほ場周辺のオクラ及びシソ (花) でも本種の発生 (吸汁加害の有無については不明) を確認している。

4 防除対策

- (1) 発生が少ない場合には捕殺する。
- (2) 本種に対する登録薬剤はないが、カメムシ類に対しては、アディオン乳剤 (希釈倍数・使用量: 2000 倍、使用時期・回数: 収穫前日まで 3 回以内) 及びマラソン粉剤 3 (同: 3kg / 10a、同: 収穫前日まで 6 回以内) の登録がある。
- (3) ほ場内及び周辺の除草を行い、ほ場衛生に努める。

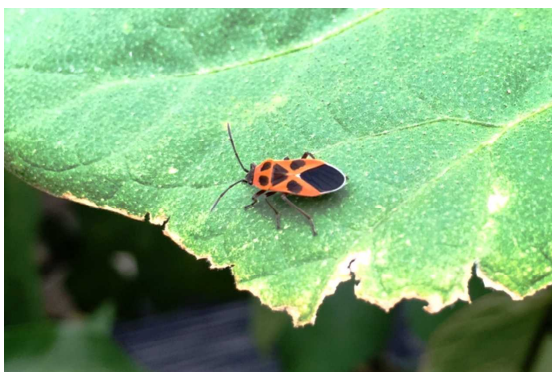


写真 1 : ヒメジュウジナガカメムシ成虫



写真 2 : ナスの生長点を集団加害する
ヒメジュウジナガカメムシ幼虫
(写真提供: JA 京都中央 新谷雅敏氏)

<参考文献>

友国雅章監修 (1993) 日本原色カメムシ図鑑, 全国農村教育協会, 380pp.